2025 年度第 4 回価格審査会の開催について

2025 年度 4 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2025 年 7 月 15 日(火) 10:00~12:00
場 所	本部 6 F 大会議室
委 員	松田 寛志 日本工営株式会社 流域水管理事業本部 本部長 石井 修一 東日本建設業保証株式会社 経営企画部 副部長 鈴木 由香 株式会社日本設計 コスト設計部長 星野 正 東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括)
当 会	共通資材調査部 部長：小林 法雅、次長：南 昌宏 建築調査部 部長：高橋 俊一、次長：岩井 卓矢 監査審査室 室長：黒澤 昭浩 調査統括部(事務局) 部長：大澤 勝、課長：本間 哲

2025 年度第 3 回価格審査会議事録(案) 確認

2025 年度第 4 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明
<p>1. 「建設物価」8月号、「Web 建設物価」8月号の入稿状況</p> <ul style="list-style-type: none">・価格が上伸した資材（工事費） 【Web 建設物価】 セメント（バラ）（鳥取市ほか10都市）、レディーミクストコンクリート（普通セメント使用）（帯広市ほか100都市）、道路用砕石類（久慈市ほか80都市）、再生砕石類（久慈市ほか14都市）、アスファルト混合物（由利本荘B地区（旧矢島町）ほか3都市）、ストレートアスファルト（全国）、コンクリート積みブロック（滑面）（盛岡市ほか1都市）、構造用合板—J A S 品—（静岡市ほか1都市）、6 0 0 Vビニル絶縁電線（I V）（全国）、燃料油（札幌市ほか9都市）、鉄スクラップ（鳥取市ほか5都市）ほか・価格が下落した資材（工事費） 【Web 建設物価】 異形棒鋼（青森市ほか47都市）、H形鋼（全国）、等辺山形鋼（全国）、鋼板（札幌市ほか37都市）、配管用ステンレス鋼鋼管（溶接管）（全国）、鉄スクラップ（札幌市ほか33都市）ほか <p>2. 比較資料</p> <ul style="list-style-type: none">・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	東京地区における骨材価格の上昇要因及び全国的な供給状況はどうなっているか。	東京地区では、製造・輸送コストの増加を背景に、メーカー各社が値上げを実施している。主な需要家であるレディーミクストコンクリートメーカーは製品の値上がりを背景に、原材料であるコンクリート用骨材の値上げを一部受け入れている。また、全国的に天然砂利や天然砂は枯渇傾向にあり、碎石や砕砂等の代替資材を活用する地区が多くなっている。
質問 2	軽量コンクリートの価格が掲載されなくなった背景及び今後どのように対応する方針なのか。	製造設備の老朽化等により原材料である人工軽量骨材の調達が困難となり、軽量コンクリートの供給が不安定な状況になったことから価格掲載を見送っている。今後も安定供給体制が確保されるまで価格掲載は見送る方針であり、状況を常時注視していく。
質問 3	鋼材価格が下落した主な要因と輸入鋼材はどの国の影響を受けているのか確認したい。	主な要因は、国内建設需要の減少に伴い流通間で価格競争が激化しているためである。中小規模物件や大型再開発物件においても、資材価格の高騰や人手不足の影響により、中止・中断、または規模縮小が相次ぎ、需要が低迷している。輸入鋼材は中国と韓国が中心であり、それ以外の国からの流入は限定的である。中国の自国の需要減少に伴う他国への輸出拡大によりアジア全体で価格が下落傾向にある。国内供給への直接的な影響は小さいが、安価な輸入材の存在は市場に一定の影響を与えている。
質問 4	ストレートアスファルトの値動きが、全国的に先月は下落し今月は反対に値上がりしている。背景を伺いたい。	ストレートアスファルトは、毎月価格改定を行う商慣習がある資材であり、国際的な原油相場の影響を受けやすい。今月は原油価格の上伸に伴い、元売り各社が仕切価格を引き上げ、販売価格にもその動きが反映された。
質問 5	レディーミクストコンクリートの主要 10 都価格推移グラフで、他地区が変動するなか、大阪及び福岡地区が、長期間横ばいであるが、この 2 地区に共通する特有の状況はあるのか。	レディーミクストコンクリートは、地域性が高い資材であり、協同組合の有無や結束力、員外社の有無、需給動向等によって地区ごとに値動きは異なる。この 2 地区では結果的に横ばいが続いているが、大阪地区においては、令和 8 年 4 月から大幅な値上げが予定されている。

質問 6	公共工事全体で、道路部門に伸びが少ないという情報があるが、ストレートアスファルトが値上がりしている。ストレートアスファルトの値動きに対してアスファルト混合物の価格はどのように影響するのか。	原油価格の上伸を受けて、元売り各社が仕切価格を引き上げたことに対して、需要家であるアスファルト混合物メーカーは安定調達を優先して値上げを受け入れた。一方、アスファルト混合物メーカーは製造・輸送コストの増加を受けて製品の値上げを打ち出しているが、道路部門の工事需要は伸び悩んでおり、需要家である施工会社が値上げ受け入れに慎重姿勢で交渉が進展していない状況にある。
質問 7	電線価格の上昇理由として、データセンター等の新規需要が影響しているのか。	都市圏における再開発物件やデータセンター等の大型物件の需要はあるが、中小物件向けの需要が振るわず、荷動きは精彩を欠いており、全体として需要は低調である。今回の値上がりの背景は主原料である銅の建値上昇によるものであり、大型物件による影響は限定的である。
質問 8	公表価格について、価格変動の補足コメントに「メーカーによる価格改定を受け」とあり、他の資材のように背景などの記載がないのはなぜか。	公表価格は、実勢価格と異なりメーカー等が発表する価格をそのまま掲載しているためである。
質問 9	鋼材価格がしばらく下落傾向にある中で、メーカーの経営状態に懸念はないか。	メーカー各社は人件費や電力料金等のコスト増加を踏まえ、値上げの意向を示しているものの、販売店による販売数量の確保を目的とした価格競争により鋼材価格は下落している。昨年度から鋼材の下落は続いているが、鋼材メーカーの決算状況を見る限り、現時点では一定の収益性が確保されていることから、経営状態に懸念はないと考えられる。
質問 10	レディーミクストコンクリートの気仙沼地区の上伸の背景として、地区内の 1 工場を休止したとあるが、なぜそのようなことをしたのか。	気仙沼地区では、復興関連工事の終了に伴い需要が大幅に減少していた。このため、稼働工場を減らすことで供給を調整し、価格交渉が進展しやすい環境を整備することを目的とした対応であると考えられる。
審議結果	「建設物価」8月号、「Web 建設物価」8月号の価格動向に問題はなかった。	

以上